

芸術ニュースは世界へ発信するワールド・ステージ

週刊 芸術新聞

発行：アグリーシステム 週刊芸術新聞編集部

本社：千葉県茂原市渋谷1016-12

メール：agree@green.ocn.jp

agree-sys@excite.co.jp

HP：http://weeklyart.seesaa.net/auth/article_preview/

おもしろ体験博物館
江戸民具街道

神奈川県足柄上郡中井町久所418

開館時間：9:00~17:00

休館日：月曜日

問い合わせ：0465-81-5339

HP：http://edomingu.com/

デジタル技術の進歩で今後の展覧会が
大きく変わるかも？

「デジタルで楽しむ歴史資料」

国立歴史民俗博物館



携帯電話がスマホに変わっていったように、すべてがデジタル化されている。現在、美術業界でもデジタル化された展覧会が始まりはじめている。本展はそんな核心部分を捉え、大変注目されている。



国立歴史民俗博物館では、世の中デジタル化が進む中、企画展示「デジタルで楽しむ歴史資料」を開催されている。これは歴博が所蔵する歴史資料をデジタル技術を利用して解りやすく解析し、展示のデジタル技術の集大成といえる。ただ展示しているだけではなく、展示品（屏風等）を閲覧した上で、さらにデジタル化された機種を操作しながら細部にわたる内容を新発見できたり、操作もスマホ並みの簡単さがチャレンジする意欲を後押ししてくれる。デジタル技術の得意ワザである「大きく・明るく・見やすく・比べて表示」を一気に体感でき、美術館や博物館に対する考え方が一変させるほどの威力がありそう。展示構成は次の4項目となっている。

デジタル技術の集大成！

① デジタルで楽しむ絵画資料
② デジタルで解き明かす資料のなぞ
③ デジタルで楽しむ工芸資料
④ デジタルで広がる歴史展示の可能性

◆ 3月14日（火）
～ 5月7日（日）

国立歴史民俗博物館 企画展示室A/B（千葉県佐倉市城内町117） TEL 043-486-0123

（代表） 一般830円

高校生・大学生450円

小・中学生は無料は無料

3月21日・27日、4月10日・

17日・24日休館

次号は
3月30日発行

熱海湾を一望でき、眺望ナンバー
ワンの美術館

■ MOA美術館（静岡県熱海市桃山町26）
電話0557-（84）2511

一般1600円、高校生800円、中学生以下無料、65歳以上1200円木曜日休（祝日は開館）

JR熱海駅下車／バス4番のりばMOA美術館行8分

版画でみる20世紀展 ピカソからウォーホルまで 開催中！

■ 諸橋近代美術館

（福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峰1093番23） 一般・

大学生950円、高校

生500円、小・中学

2000円生*毎週土曜

日、小・中学生は無料

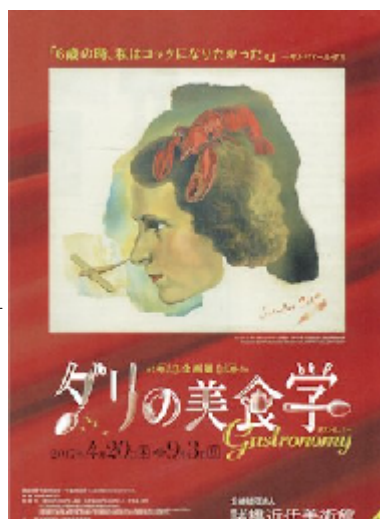
電話0241（37）

1088

特別展

ダリ的美食学

ガストロノミー



食物への欲求を抑圧された幼少期の回想が詳細に綴られていて、多様な食

20世紀を代表する芸術家、サルバドール・ダリ（1904〜1989）は、スペイン北東のカタルーニャ州に属する小都市フィゲラスの出身。カタルーニャ州では、多くの人々が自分で見聞きし、触れ、食べた物を信じる、唯物主義的な気性の持ち主と言われている。ダリのこの例に漏れずカタルーニャ気質に溢れた人物でしたが、ことさら「食」に関しては奇妙な執着を持っていた。

「6歳のとき、私はコックになりました」という書き出しで始まるダリの自叙伝『わが秘められた生涯』（1942年）には、富裕層の出身であるが故に台所への出入りを禁じられ、

物に対して向けられた関心は、やがて芸術家としての人生を歩み始めたダリの作品にも反映されるようになった。

本展では、約50点のダリ作品を展示し、「美とは可食的なものである」という言葉を残したダリの、奇妙な食の世界を楽しめる。

◆ 4月20日
（木）〜9月3日
（日）

諸橋近代美術館（福島県

耶麻郡北塩原村大字松原字

剣ヶ峯1093番23）TEL

0241-371088

一般950円 高校・大

学生500円 中学生以下

無料 会期中無休

特別展「雪村 奇想の誕生」

東京藝術大学美術館

雪村の主要作品約100件と関連作品約30件で構成される最大規模の回顧展。その生涯は未だ謎に包ま

れているが、ひととき革新的で、また人間味あふれる温かな水墨画を描き続けた、ということだけは確か。



雪村の作品は江戸時代の尾形光琳らを魅了し、狩野芳崖ら近代の画家たちへと受容され

中村彝生誕130年記念
〜芸術家たちの絆展〜

中村屋サロン美術館

彫刻家 荻原守衛（碌山）生誕130年を記念して、亡き後の中村屋サロンの中心人物であった洋画家 中村彝（なかむら つね）の芸術家たちの油彩画、素描、



た。雪村の「奇想」はどのような形で生まれたのか、その全貌に迫る。

◆ 3月28日
（火）〜5月21日（日）

メモ

東京藝術大学美術館 本館 展示室1、2、3、4（東京・上野公園）TEL 03-5777-8600（ハローダイヤル）一般1600円 大学1200円 高校生900円 中学生以下無料 月曜日休館（ただし、5月1日は開館）

彫刻、書簡類など約50点を紹介。彝の力強い作風と人望から、彼の周りには多くの芸術家が集まり、「絆」が生まれた。その作品と交友関係を探る。

◆ 3月18日
（土）〜6月4日（日）

メモ

中村屋サロン美術館 展示室1・2（東京都新宿区新宿3丁目26番13号 新宿中村ビル3階）TEL 03-5362-7508 一般300円 毎週火曜日休館（火曜日が休日の場合は開館、翌日休館）

日本の歴史・文化の流れの中から論点を絞ったテーマを選んでの展示

■ 国立歴史民俗博物館（千葉県佐倉市城内町1-17）電話03（5777）8600 ハローダイヤル 一般420円、高校・大学生250円、中学生以下無料 月曜日休館

着物、帯、のれん、屏風、額絵、絵本など多岐にわたる

■ 静岡市立芹沢鉦介美術館（静岡市駿河区登呂5-10-5）電話054（282）5522 一般410円 高大生250円 月曜日休館

庭園ゾーン
書院ゾーン
体験ゾーン
展示ゾーン

■ 北九州市立小倉城庭園（北九州市小倉北区城内1-2）電話093（582）2747 会期中無休



東京国立近代美術館 茶碗の中の宇宙 樂家一子相伝の芸術

千利休
の愛した美

ロサンゼルス・カウンティ美術館、サンクトペテルブルク・エルミタージュ美術館、モスクワ・プーシキン美術館で開催され約19万人を動員。好評を博した展覧会が、さらに充実度を増し凱旋します。千利休が愛した初代長次郎の黒樂茶碗

「大黒」をはじめ、歴代の重要文化財のほとんどを一挙公開。本阿弥光悦の重要な文化財をはじめ、よりすぐりの作品も出品されます。樂焼は、織田信長、豊臣秀吉によって天下統一が図られた安土桃山時代(16世紀)に花開いた桃山文化の中で樂家初代長次郎によってはじめられた。

◆初代長次郎、光悦の重要文化財が、かつてない規模で揃う

◆利休が愛した名碗が揃う

◆樂家450年の伝統と

◆現代の視点でとらえた初代長次郎はじめ、歴代の「今」を鑑できる

メモ ◆ 4月20日
(木)～9月3日

(日) 東京国立近代美術館工芸館(千代田区北の丸公園3-1) Tel 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1600円 大学生1200円 高校生900円 中学生以下無料 毎週月曜日休館(ただし5月1日は開館)

日本美の粋、茶の名品ずらり

特別展 茶の湯

東京国立博物館 平成館



2017年
4.11(水)～6.4(日)
東京国立博物館 平成館

日本の独特な「茶の湯」展が、東京国立博物館平成館で、4月11日から6月4日まで、37年ぶりに開催される。日本の美の粋をあらためて堪能できる。

国宝・重要文化財がズラリ!

日本文化の象徴であり、

真髓ともいえるべき「茶の湯」。本展は、室町時代から近代まで、その発展の歴史をたどる特別展。

名だたる武将や茶人が手にした名物や、時代を象徴する茶湯道具が一堂に会する貴重な機会と言える。また、最終章では、藤田香雪(ふじたこうせつ)、益田鈍翁(ますだどんのう)、平瀬露香(ひらせろこう)、原三溪(はらさんけい)の四人の近代数寄者に焦点をあて、2週間ごとに一人ずつ、現代にも通じる

その個性豊かな茶の世界を堪能できるようにしている。

1980年(昭和55年)に東京国立博物館で開催された「茶の美術」展以来、37年ぶりの大規模な展覧会となる。

「茶の湯」を通して、あらためて日本の美の粋を堪能できる。

メモ ◆ 4月11日
(火)～6月4日

(日) 東京国立博物館 平成館(東京都台東区上野公園13-9) Tel 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1600円 大学生1200円 高校生900円 65歳以上1000円 中学生以下無料 毎週月曜日(ただし、5月1日は開館)



特集

国立新美術館開館10周年・チェコ文化年事業

ミュシャ展 超大作全20点に圧倒

チェコ国外世界初公開!!

国立新美術館では、アル・ヌーヴォーを代表するアルフォンス・ミュシャが約16年をかけて描いた「スラブ叙事詩」がチェコ国外では世界初、全20点がまとめて公開され、圧倒している。

ミュシャの画業の集大成

アル・ヌーヴォーを代表する芸術家の一人、アルフォンス・ミュシャ（1860〜1939）。モラヴィア（現在のチェコ共和国）に生まれ、27歳でパリに渡り絵を学び、34歳の時にサラ・ベルナール主演の舞台ポスターを手がけ、以降、



時代の寵児として活躍した。そんなミュシャが故郷への強い思いから約



縦6m×8mの巨大絵画

16年をかけて描いた『スラブ叙事詩』をチェコ国外では世界で初めてとなる全20点まとめて、国立新美術館（東京・六本木）で公開されていて、連日多くの人で賑わいを見せている。

何といっても、会場内に入って圧倒されるのは、縦6m×横8mの超大作がズラリ展示され、迫ってくる勢い。

古代から近代に至るスラヴ民族の歴史が抽象的に描いた作品は巨大な油彩絵画の連作となっ



ヴラスト・チャハーコヴァー（美術評論家・ミュシャ展共同監修）

る。ミュシャの画業の集大成とも言われ、チェコの宝として国の寵児となるきつ



民に愛され、完成から80年以上がたった今でもミュシャ史上最大にして最高の傑作と言われている。その他、ミュシャが時代の寵児となるきつ

メモ

◆ 3月8日
(水)〜6月5日(月)

日(月)

国立新美術館 企画展示

室2E (東京都港区六本木

722) TEL 03-5

777 8600 (ハロー

ダイヤル) 一般1600

円 大学生1200円 高

校生800円 中学生以下

無料 毎週火曜日(ただし、

5月2日(火)は開館)



2017年5月7日までの主な展覧会情報

美術館・博物館ガイド

東京都内

●東京国立近代美術館

「マルセル・ブロイヤーの家具・improvement for good」
5月7日まで Tel 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般430円 3月21日休館

●東京都美術館 「ティッシャーノとヴェネツィア派展」 4月2日まで Tel 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1600円 3月21日休館

●江戸東京博物館 「江戸と北京 18世紀の都市と暮らし」 4月9日まで Tel 03 3626 9974 一般1400円 月曜日休館

●東京都写真美術館 「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 総集編」 5月7日まで Tel 03 3280 0099 一般700円 月曜日休館

●東京都庭園美術館

「並河靖之七宝展」 4月9日まで Tel 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1100円 3月22日休館

●東京ステーションギャラリー 「パロディ、二重の声 日本の一九七〇年代前後左右」 4月16日まで Tel 03 3212 2485 一般900円 月曜日休館

●山種美術館 「日本画の教科書 東京編」 4月16日まで Tel 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1200円 月曜日休館

●三井記念美術館 「三井家のおひなさま」 4月2日まで Tel 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 月曜日休館

●Bunkamura ザ・ミュージアム 「これぞ昭和！世界が認めたその画力」 4月16日まで Tel 03 5777 8600

(ハローダイヤル) 一般1400円 無休

●原美術館 「エリザベス・ペイトン・スタイルライフ 静／生」 5月7日まで Tel 03 3445 0651 一般1100円 月曜日休館

●世田谷美術館 「花森安治の仕事 デザインする手、編集長の眼」 3月26日まで Tel 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 月曜日休館

●練馬区立美術館 「田沼武能肖像写真展 時代を刻んだ貌(かお)」 4月9日まで Tel 03 3577 1821 一般500円 月曜日休館

●町田市立博物館 「藍色浪漫 伊万里染付 図変り大皿の世界」 5月7日まで Tel 04 2726 1531 一般300円

東京郊外

月曜日休館

●町田市立国際版画美術館 「吉例浮世絵大公開！江戸ノスタルジア」 4月9日まで Tel 04 2726 2771 一般600円 月曜日休館

●府中市美術館 「歌川国芳 21世紀の絵画力」 5月7日まで Tel 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般700円 月曜日休館

●茨城県近代美術館 「東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展」 4月2日まで Tel 02 9243 1111 一般1080円 無休

関東南部

●横浜みなと博物館 「海難と救助 信仰から SOSへ」 4月16日まで Tel 04 5221 0280 一般200円 月曜日休館

●そごう美術館 「絵画の潮流展」 4月9日まで Tel 04 5465 5515 一般1000円 無休

●横須賀美術館 「横須賀ゆかりの友禅作家 中村

休 ●横須賀美術館 「横須賀ゆかりの友禅作家 中村

光哉展」 4月16日まで Tel 04 6845 1211 一般800円 無休

●平塚市美術館 「東京都現代美術館コレクション 近代日本画名品展」 4月9日まで Tel 04 6335 2111 一般200円 月曜日休館

●岡田美術館 「美術館で巡る 東海道五十三次の旅」 4月2日まで Tel 04 6087 3931 一般2800円 無休

関東北部

●茨城県近代美術館 「東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展」 4月2日まで Tel 02 9243 1111 一般1080円 無休

●栃木県立美術館 「額装の日本画」 4月2日まで Tel 02 8621 5666 一般700円 月曜日休館

●足利市立美術館 「今、超克のとき。いざ、足利。山姥切国広展」 3月12日まで Tel 02 8443 3131 一般700円 3月21日休館

●箱根ラリック美術館 (神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186番1) 電話0460(84)2255 一般1500円、大学生・高校生・シニア(65歳以上)1300円、中学生・小学生800円 年中無休

ルネ・ラリックの生涯と出会う

●箱根ラリック美術館 (神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186番1) 電話0460(84)2255 一般1500円、大学生・高校生・シニア(65歳以上)1300円、中学生・小学生800円 年中無休

からくり人形な関係資料多数展示中

●江戸民具街道(神奈川県足柄上郡中井町久所418) 電話0465(81)5339 月曜日休館

箱根の景観と自慢のスウィーツを楽します

●箱根写真美術館 (神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300 432) 電話0460(82)2717 火曜日休館 毎週土曜日は夕方5時まで営業

*お出かけ時は再度ご確認下さい。

Art Topics

箱根写真美術館 開館15周年特別展

Requiemレクイエム
吉田大朋 写真展 軽妙洒脱



追悼の
気持ちを込めて

箱根写真美術館では、開館15周年特別展として、日本人として初めてフランス

の『ELLE』本誌と専属契約を交わし、当時の世界のモードを日本へ伝える重要な役割を担った写真家、吉田大朋(よしだ だいほう)氏の作品展を開催することとなり、準備を進めておりましたが、2017年2月10日に吉田大朋氏が享年82歳で逝去されました。追悼の気持ちを込めて、当館の1・2階両フロアにて本展を開催する運びとなりました。

日本のファッション誌を

メモ

◆4月5日(水)
5月29日(月)

箱根写真美術館(神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300 432) 1046
082 2717 一般
500円 小学生以下300円 毎週火曜日休館

第2回ホキ美術館大賞特別賞に 広島三重野慶「信じてる」が 選ばれる

HOKI MUSEUM NEWS | NO.14
ホキ美術館 ニュース 2017.3

速報! 第2回ホキ美術館大賞特別賞に
広島三重野慶《信じてる》が選ばれました。
(一般鑑賞者の投票による)



千葉のホキ美術館にて「ホキ美術館大賞展」を
5月15日まで開催中。

賞が、来

館者による一般投票で選ばれ、2016年11月15日から2017年2月27日まで投票が行われ、総得票数4546点の中で1034点を獲得し、第1位に輝いたのは、広島在住の三重野慶さん(31歳)の『信じてる』が決定し、ホキ美術館より表彰状と賞金100万円が授与され、作品はホキ美術館にされた。

編集後記

◆春の訪れとともに美術館・博物館・ギャラリーとも活発にPR活動を始め出し、当編集部もそれにつれて取材であちこちに飛び回り、取材日程と編集時間を組むのに躍起となっている日々が続いています。それでも新聞作りが好きで忙しいう方が体調維持もでき感謝・感謝の連発です。

◆本号の1面に掲載しました美術作品のデジタル化に関しては、編集部で思っていた以上に進行していることから、今後の美術館・博物館・ギャラリーにとつては、大きな転機

創世期から牽引してきた偉大な写真家の仕事をこの機会にぜひ、ご堪能しては如何でしょうか。

◆いよいよ行楽シーズンに突入しますので、読者の多くの皆さん方も、出かけた先には結構美術館・博物館・ギャラリーが存在していますので、ぜひ立ち寄って”それぞれの芸術の領域”を味わって欲しいと思います。